

# リンドウの葉片培養技術の開発

福島県農業試験場育種班

平成13年度福島県農業試験場試験成績概要

## 1 部門名

花きーリンドウーバイテク

分類コード 05ー25ー73000000

## 2 担当者

鈴木 誉子

## 3 要旨

ほ場のリンドウから葉を採取して培養する増殖法を開発した。

### (1) 培養方法

ア 初代培養(カルス及びシュート形成培地): 培地に添加する植物生長調節物質;ホルクロルフェニユロン0.1~1mg/lとNAA0.1~1mg/lの組み合わせで、約2ヶ月間培養すると、カルスが形成しシュートが誘導された。シュート形成率は、エゾ系がササ系より高く、また同じエゾ系、ササ系の中でも、系統によって、植物生長調節物質の最適組み合わせが異なった。

イ シュート増殖: 形成されたカルスをシュート増殖培地(MS培地)に移植し約2ヵ月間増殖する。

ウ 発根: 誘導されたシュートを発根培地(1/2MS培地)で発根を促す。

### (2) 葉の採取時期(最適培養時期)

エゾ系は展葉期、ササ系は萌芽期から展葉期までの葉でシュート形成率が高かった。

### (3) 培養部位

葉の中央部分でシュート形成率が高かった。

この方法で、エゾ系とササ系の葉片培養による増殖が可能となった。再生された植物体はカルス由来のため変異の確認が必要である。

## 4 その他の資料等

なし